

(様式8)

## 公共事業終了箇所評価調書

評価確定日(平成19年11月28日)

事業コード	H19-建-終-8		区 分	国庫補助 (県単独)
事業名	地方特定道路整備事業		部 局 課 室 名	建設交通部 道路課
事業種別	道路改築事業(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2493
路線名等	(主)能代五城目線		担 当 課 長 名	加藤 修平
箇所名	三種町 森岳		担 当 者 名	主幹(兼)班長 伊藤 茂
総合計画との 関連	政策コード	U	政 策 名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備
	施策コード	4	施 策 名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備
	指標コード	2	施策目標(指標)名	県道改良率

## 1. 事業の概要

事業の 背景及び 目的	本路線は、能代市の国道7号を起点に、旧山本町等を経由し国道285号五城目町に至る、県北沿岸部と内陸中央部を南北に連絡する主要な幹線道路である。当該区間は人家連担地で沿線には森岳温泉や小・中学校といった公共施設が存在し、また能代市街地への通勤・通学といった沿線集落の日常生活を支える道路である。しかし現道は狹隘・急勾配・屈曲(Wmin=6.0m、imax=8.0%、Rmin=80m)で歩道も未整備のため、大型車のすれ違いや冬期交通の確保が困難な状況であった。そのため、交通隘路区間の解消、安全な生活環境の確保のため道路整備を行ったものである。					
事業期間	前回 H7年 ~ H16年 終了 H7年 ~ H16年	総事業費	前回 16.0億円 終了 15.9億円	国庫補助率	-	
事業規模	前回 延長L=750m 幅員W=6.0(12.0)m 終了 延長L=750m 幅員W=6.0(12.0)m					
事業効果の 要因変化及び 発現状況			前回評価計画	最終	増減 -	理由
	事業費		1,599,000	1,585,200	-13,800	
	経 費 内 訳	工事	759,000	745,200	-13,800	残土処理場の調整による
		用補	597,200	597,200	0	
		その他	242,800	242,800	0	
	事業内容		調査・設計 用地買収補償 改良舗装工 橋梁工	調査・設計 用地買収補償 改良舗装工 橋梁工		
	コスト・効果対比較		費用便益変化の主な要因(前回評価 終了)			
	最終コスト 終了C / 前回評価C = ( 0.99 )		【便益】 事業費の減額に伴い、費用便益が上がった。			
	費用便益 前回評価B / C = ( 1.20 ) 終了B / C = ( 1.22 )		【費用】 残土処理場を調整したところ、運搬距離が短くなったため工事費が減額となった。			
	目標 達成率	指標名	県道改良率			
指標式		改良率(改良済延長/実延長)				
指標の種類		成果指標 (業績指標)	低減指標の有無	有 (無)		
目標値a		67.5%	データ等の出典	あきた21総合計画H17目標 H17道路現況調書		
実績値b		68.3%				
達成率b/a		101.2%	把握の時期	平成19年10月		
指標を設定することができなかった場合の効果の把握方法 指標を設定することができなかった理由及び把握方法と成果 データの出典含む						
自然環境の 変化	法面の緑化に関して、生態系を考慮し、在来種を多く配合している。					
社会経済 情勢の変化	平成18年3月20日に琴丘町・山本町・八竜町が合併し、三種町となった。					
事業終了後の 問題点及び管理・ 利用状況	現在は県が維持管理しているが、路肩の除草に関しては、周辺部落と調整し、地元の協力を得ることが必要と思われる。歩道を整備したことにより、歩行者の安全性が確保された。					

住民満足度等の状況 (事業終了後)	満足度を把握した対象 (受益者) 一般県民 (時期: 平成19年 8月) 満足度把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の方法 (具体的に ) 満足度の状況 当該区間を利用する地域住民から、道路整備により安全に走行できるようになり、特に通学・通勤の歩行者の安全が確保された旨の意見があった。
上位計画での位置付け	あきた21総合計画において「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」の位置づけあり。
関連プロジェクト等	地域振興プロジェクトである「交通ネットワークを強化する県道等の整備」の位置づけあり。
前回評価結果等	選定または継続 改善 見直し 保留又は中止 指摘事項
	指摘事項への対応

2. 所管課の自己評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	住民満足度の状況 (A) B C 住民アンケートにおいて、安全な交通が確保されたという意見が多く出されていた。さらに、満足・やや満足との意見が81%であった。	(A)
	事業の効果 (A) 達成率100%以上 B 達成率80%以上100%未満 C 達成率80%未満	B
	当該事業は計画通り進捗し、あきた21総合計画の 県道改良率目標を上回った。	C
効率性	事業の経済性の妥当性 (A) B C B/Cが1.22となっており、事業の経済性においては妥当である。	(A)
	コスト縮減の状況 A 縮減率20%以上 B 縮減率20%未満 C 縮減なし	B
	-	C
総合評価	(A) (妥当性が高い) B (概ね妥当である) C (妥当性が低い) 計画に沿って着実に事業が進捗し、地域住民の交通安全確保が図られており、住民満足度等からも成果が認められることから、事業は妥当である。	

3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

事業開始前の予備調査や設計段階で現場の把握や、実施・詳細設計における適正な事業費の把握に努め、コスト縮減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行を図る。

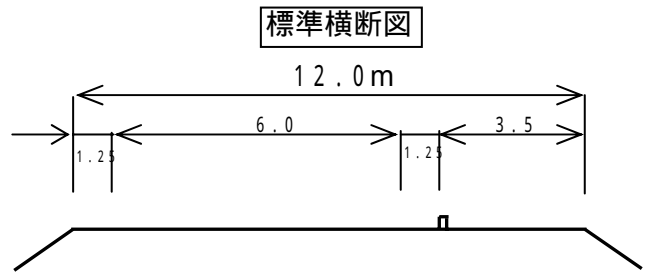
4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を「可」とする。

総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	A
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	

# 主要地方道 能代五城目線 森岳工区



整備前



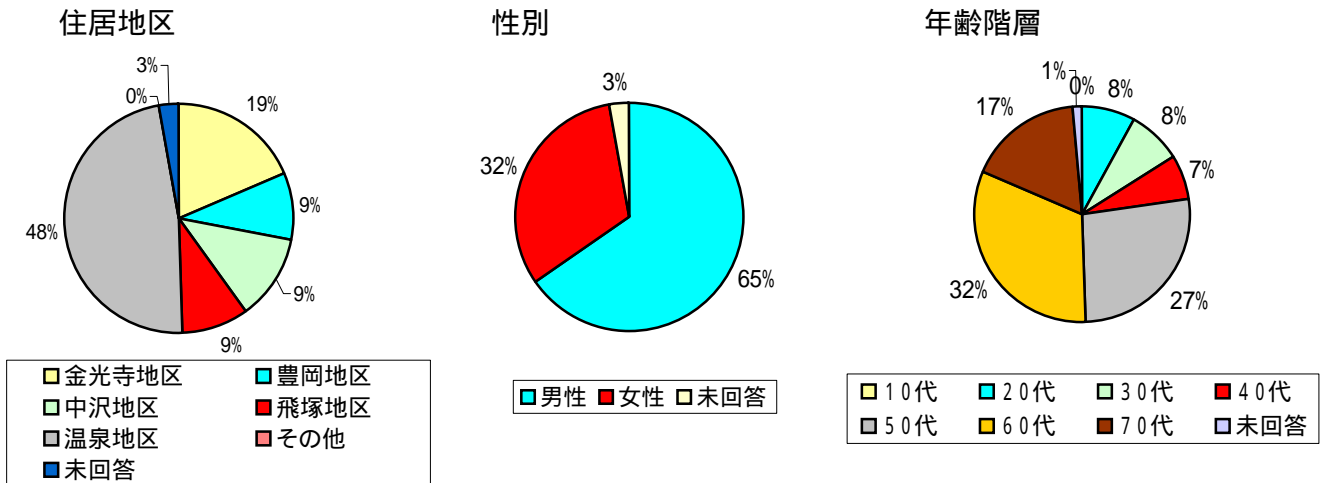
整備後

# 道路整備の効果に関するアンケート結果

(主)能代五城目線 森岳工区

配布枚数: 240 枚  
回収枚数: 75 枚 (回収率 31.3%)

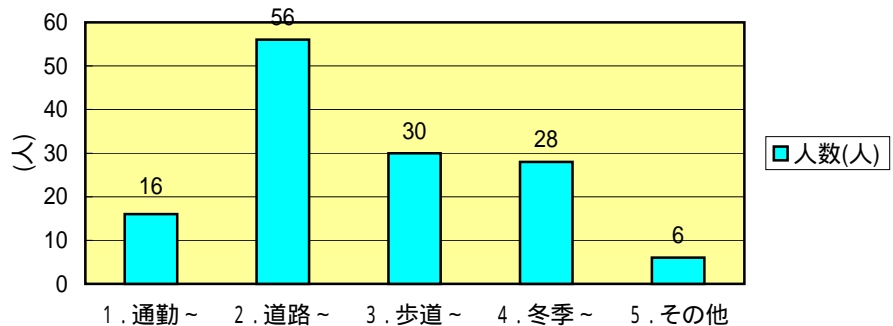
## 回答者の状況



## 調査結果

(設問1) 「(主)能代五城目線 森岳工区」の道路整備工事が完成したことにより、どのような効果がありましたか。 複数選択も可。

1. 通勤、通学等の時間が短縮された。
2. 道路が広くなったので、安全に走行できるようになった。
3. 歩道が整備されて、通学通勤の安全が確保された。
4. 冬期交通の安全が確保された。
5. その他



(設問2) あなたは「(主)能代五城目線 森岳工区」の道路整備に満足していますか。

